



白ギク3万5,900本をはじめ、スプレーマム、カーネーションなど4万本もの生花で富士山に向かって飛ぶトビウオを表現した

自身の名を冠した新水泳場に「フジヤマのトビウオ」祭壇

故 古橋廣之進さん お別れ会

日本水泳連盟名誉会長を務めていた古橋廣之進氏が、第13回世界水泳選手権の開催地であるイタリア・ローマにおいて、大会会期中の09年8月2日に客死した。

1928(昭和3)年、現在の浜松市西区に生まれた故人は、49年の全米水泳選手権において400・800・1,500m自由形で世界新記録を樹立。現地のマスコミから「フジヤマのトビウオ」と形容されるほどの快挙を成し遂げたほか、生涯に33回もの世界記録を打ち立てた。

現役引退後は、日本水泳連盟、日本オリ

ピック委員会などにおいて日本スポーツ界の発展に尽力し、日本オリンピック委員会連合会表彰、国際オリンピック委員会表彰、アジアオリンピック評議会功労賞などを受賞。さらに、2008年にはスポーツ選手では史上初となる文化勲章を受章した。

お別れ会は、故人の誕生日にあたる9月16日、その活躍を称える古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBio)で行なわれた。浜松市の名誉市民である故人を偲び、市民葬として浜松市が主催したものである。

- 【祭壇データ】**
- 祭壇サイズ
間口30.00×高さ5.50×奥行4.85m
 - 使用花材
キク3万5,900本、スプレーマム2,000本、カーネーション1,500本、デルフィニウム500本、コチョウラン100本 ほか
 - 製作時間
3人で48時間
 - 遺影の大きさ
幅3×高さ2m

国際公認の50m×10コースのプールエンドには、左に発泡スチロールの土台とヒバの葉による富士山を、右には合板と発泡スチロールでトビウオをつくり、「フジヤマのトビウオ」をモチーフにした間口30mに及ぶダイナミックな祭壇を設置した。

参列者席はプールサイドに800席ほどを用意したほか、2階の観覧席も使用した。

指名献花については祭壇前の献花台を使用した。参列者献花についてはプールサイドに2か所、2階観覧席に2か所の献花台を設けたことで、1,500人の献花がスムーズに行なわれた。



プールサイドに参列者席をつくり、2階の観覧席も開放し、1,500人が参列

指名献花は祭壇前の献花台を使用。写真は浜松市長鈴木康友氏



1949年の全米水泳選手権1,500m自由形で、18分19秒0の当時の世界新記録を樹立した際、現地マスコミが「フジヤマのトビウオ」と形容した映像の1コマ



閉式後の参列者献花。プールサイド、2階観覧席にそれぞれ2か所ずつ献花台を設けた



拝受した弔電を掲示

式次第

- 15:00 開式
- 15:01 黙祷
- 15:02 浜松市歌斉唱
- 15:05 追悼の辞
- 15:15 弔辞
- 15:18 追悼映像上映「泳心一路」
- 15:29 弔辞
- 15:40 弔辞・弔電奉呈
- 15:44 追悼演奏
- 15:51 指名献花
- 16:06 謝辞
- 16:08 閉式
- 16:10 参列者献花



古橋廣之進記念浜松市総合水泳場は、2009年2月にオープン。国際公認の水泳場であるとともに、レジャー・資料館等の側面もある

FR

フェューネラル
レポート

- 日時
2009年9月16日(水)
15時00分～16時10分
- 場所
古橋廣之進記念
浜松市総合水泳場
(浜松市西区)
- 故人名
古橋廣之進
(日本水泳連盟名誉会長)
2009年8月2日死去(80歳)
- 式形態
無宗教献花方式
- 祭壇形式
生花祭壇
- 会葬者数
1,500人
- 主催者
浜松市
- 施行業者
誠和企画、イズモ葬祭